小学校学習指導要領第２章第10節外国語第２の２の(1)のエ及び次に示す事項について，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。

(ｱ) 文

a 重文，複文

b 疑問文のうち，助動詞（may，willなど）で始まるものやorを含むもの，疑問詞（which，whose）で始まるもの

c 感嘆文のうち基本的なもの

(ｲ) 文構造

a ［主語＋動詞＋補語］のうち，

主語＋be動詞以外の動詞＋｛名詞／形容詞｝

b ［主語＋動詞＋目的語］のうち，

(a) 主語＋動詞＋｛動名詞／to不定詞／how（など）to不定詞｝

(b) 主語＋動詞＋｛thatで始まる節／whatなどで始まる節｝

c ［主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語］のうち，

(a) 主語＋動詞＋間接目的語＋｛名詞／代名詞｝

(b) 主語＋動詞＋間接目的語＋how（など）to不定詞

(c) 主語＋動詞＋間接目的語＋｛thatで始まる節／whatなどで始まる節｝

d ［主語＋動詞＋目的語＋補語］のうち，

(a) 主語＋動詞＋目的語＋｛名詞／形容詞｝

(b) 主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞

e その他

(a) There＋be動詞＋～

(b) It＋be動詞＋～（＋for～）＋to不定詞

(c) 主語＋tell，wantなど＋目的語＋to不定詞

(d) 主語＋be動詞＋形容詞＋thatで始まる節

(ｳ) 文法事項

a 代名詞

(a) 人称や指示，疑問，数量を表すもの

(b) 関係代名詞のうち，主格のthat，which，who，目的格のthat，whichの制限的用法

b 接続詞

c 助動詞

d 前置詞

e 動詞の時制及び相など

現在形や過去形，現在進行形，過去進行形，現在完了形，現在完了進行形，助動詞などを用いた未来表現

f 形容詞や副詞を用いた比較表現

g to不定詞

h 動名詞

i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法

j 受け身

k 仮定法のうち基本的なもの

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合っ

第明治三二十種五郵年三月物三十一認可日